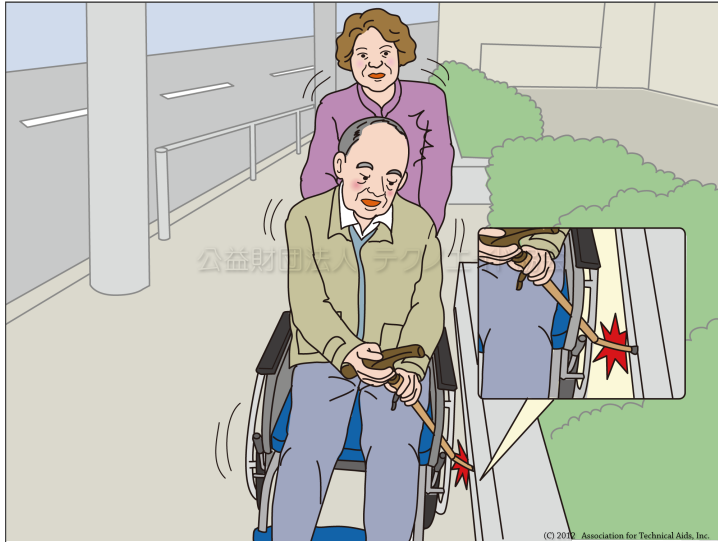


Case : 125

手に持っていた杖が車いすと花壇との間に挟まり、杖が曲がる

場面の説明

利用者が手に持っていた杖が、車いすの外にはみ出していることに介助者が気づかず、歩道の端を走行したために杖が花壇に引っかかってしまった



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 その他
介護保険の種目	—
分類コード (CCTA95)	120303 (ステッキ・T字杖)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

このような事例に限らず歩道の縁石や電柱など、街には様々な障害物があります。また、駐車車両にぶつけてしまったり、他の歩行者、特に子どもなどを傷つけてしまうような危険もあります。杖は手に持たず、専用のホルダーを装着するとより安全です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：杖を手に持っていた
- 人：死角になっている箇所に注意がなかった
- モノ：車いすに杖ホルダーが装備されていなかった
- 環境：歩道が狭かった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 125

手に持っていた杖が車いすと花壇との間に挟まり、杖が曲がる

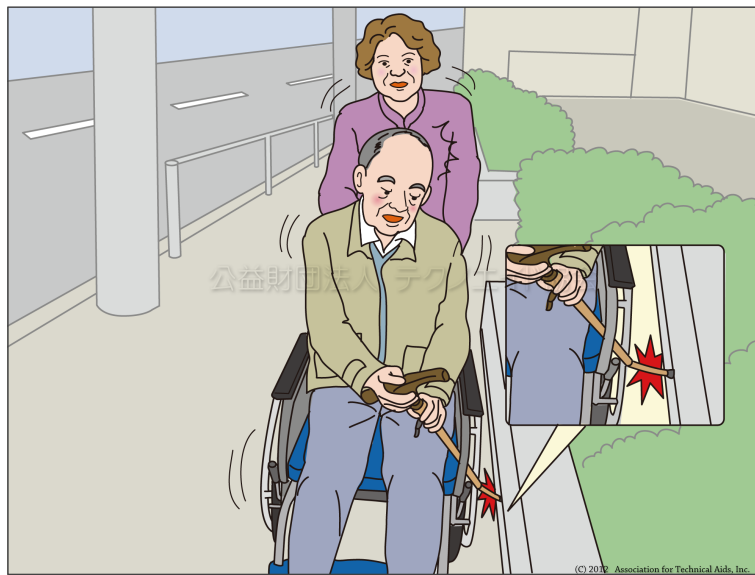
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

利用者が手に持っていた杖が、車いすの外にはみ出していることに介助者が気づかず、歩道の端を走行したために杖が花壇に引っかかってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ